

6月16日の尾張健友会定期社員総会、6月15日の尾張健友福祉会評議員会にて承認された決算報告をお知らせします。

## 2023年度決算の概要について

### 1. 収益について

- ①今年度の事業収益総額は約48億901万円となりました。医療収益（保健活動収益含む）約39億219万円、介護収益約9億681万円、合わせて前年比98.0%で、コロナ禍による報酬上の加算や特別取扱いのあった前年度より約9,665万円の減でした。予算に対しては96.4%と達成することができませんでした。
- ②外來収益は前年比89.2%で約9,336万円の減、予算比88.2%、入院収益では前年比100.3%で約866万円の増収、予算比98.5%となりました。発熱外來の患者数減や新型コロナの感染法上の取扱いが5類に移行し関連の加算や特別な取扱い等がなくなり、減収となっています。保健活動収益は、前年比76.5%で約3,643万円の減収です、コロナワクチン収益が大幅減で予算を大きく下回りました。
- ③施設介護は、稼働目標未達で予算収益も未達ですが、前年度より稼働が上がりました。収益は前年比92.0%ですが今年度より勘定科目・計上変更でショートステイ分が居宅介護収益に計上されており実質増収です。居宅介護は利用者確保が厳しく、収益は前年比92.2%で約2,761万円の減収、予算比102.0%となりました。介護収益合計では前年比103.8%で約3,310万円の増収、予算比は99.6%でした。居宅も今年度より勘定科目・計上変更で居宅介護支援収益がそのた介護収益に計上しているため、前年比増減が大きくなっています。

### 2. 費用について

- ①今年度の事業費用総額は約48億4,438万円となり、前年比98.3%で約8,421万円の減、予算比96.5%でした。その内、人件費は前年比で99.1%で約2,810万円の減、予算比96.6%、材料費は前年比99.3%予算比99.1%、委託費は前年比99.8%、予算比94.1%です。経費は前年比94.6%で約2,751万円の減、予算比97.5%となっています。減価償却費は前年比89.6%で約1,690万円の減でした。また、消費税負担額は前年比95.2%で約598万円の減となっています。
- ②人件費では、ペースアップを行いました前年度に全職員へのコロナ禍慰労金支給や人員の入退職にともなう人員確保もきびしく人件費支出としては下がっています。材料費・委託費では、前年度までのコロナ関連の費用が大きく減額しています。経費では、職員のPCR検査しなくなったことや、特に高騰していた水光熱費（前年比81.0%、2,300万円減）が大きく費用減になっています。
- ③今年度の収益に対する構成比は、人件費は66.2%（前年65.5%）、材料費は11.3%（前年11.2%）、委託費は7.7%（前年7.5%）、経費は10.0%（前年10.4%）となりました。

### 3. 利益について

今年度の経常利益は、約4,101万円となっています。前年は約1億248万円で、約6,147万円の減となりました。事業利益は△3,536万円となり、補助金等の事業外収益と支払い利息などの事業外費用を含め上記経常利益額となっています。

事業収益は前年実績を下回り（前年比98.0%）予算も下回りました（予算比96.4%）。一方、事業費用についても前年を下回り、予算内での執行となり（予算比96.5%）、事業利益は前年及び予算を下回りました。前年度までのコロナ関連補助金がほぼなくなり、物価高騰対策補助金と包括支援センター補助金と併せて9,011万円あり、結果として経常利益予算を達成できました。

コロナ感染症5類移行後、加算関連取扱いがなくなり、補助金もなくなりました。患者数や利用者数を確保し、本来の医療・介護事業での収益確保が必要です。

### 4. 財務状況について

- ①総資産額は約42億6,069万円となりました。前年比99.1%で約3,828万円の減となっています。資産では流動資産が約20億5,129万円となり前年比102.9%、約5,752万円の増。固定資産は約22億939万円で前年比95.8%、約9,580万円の減となりました。
- 負債では流動負債が約8億6,224万円となり、前年比106.3%約5,128万円の増。固定負債は約19億6,508万円となり、前年比94.6%約1億1,126万円の減。資本合計は約14億3,335万円で前年比101.5%、約2,170万円の増となりました。
- 年度末での期ずれによる未落ちが数千円あり、流動資産及び流動負債額が大きく出ています。
- ②総資産約42億6,069万円のうち建物等の有形固定資産は約15億5,852万円で総資産の36.6%を占めています。
- ③自己資本比率は33.6%（前年度32.8%）です。

## 医療法人 尾張健友会 2023年度 決算報告

(単位:千円)

損益計算書		年度実績		年度予算		対前年比
		金額	構成比	金額	執行率	
経常損益	医療収益	3,783,754	78.7%	3,933,645	96.2%	97.6%
	介護収益	906,817	18.9%	910,629	99.6%	103.8%
	保健活動収益	118,440	2.5%	146,156	81.0%	76.5%
	事業収益計	4,809,010	100.0%	4,990,431	96.4%	98.0%
	人件費	3,184,952	66.2%	3,296,938	96.6%	99.1%
	材料費	544,850	11.3%	549,951	99.1%	99.3%
	委託費	367,868	7.6%	391,019	94.1%	99.8%
	経費	480,574	10.0%	493,074	97.5%	94.6%
	減価償却費	145,700	3.0%	164,736	88.4%	89.6%
	リース	694	0.0%	2,173	31.9%	32.9%
	消費税負担額	119,742	2.5%	119,753	100.0%	95.2%
	事業費用計	4,844,380	100.7%	5,017,643	96.5%	98.3%
	事業外収益	△35,370	△0.7%	△27,213	130.0%	154.3%
事業外費用	105,615	2.2%	78,559	134.4%	68.7%	
うち支払利息	29,234	0.6%	28,976	100.9%	103.2%	
経常利益	(9,725)	0.2%	(9,818)	99.1%	89.3%	
経常利益	41,011	0.9%	22,370	183.3%	40.0%	

貸借対照表		期首残高	期末残高		増減額		
			金額	構成比			
資産	流動	現金・預金	1,058,413	1,169,383	27.4%	110,969	
		事業未収金	878,659	821,206	19.3%	△57,452	
		棚卸資産	35,088	28,520	0.7%	△6,568	
		その他流動資産	21,614	32,188	0.8%	10,574	
		合計	1,993,774	2,051,297	48.1%	57,523	
	固定	有形固定(償却)資産	5,008,989	4,994,183	117.2%	△14,806	
		減価償却累計額	△3,949,248	△4,035,806	△94.7%	△86,558	
		土地	600,152	600,152	14.1%		
		リース資産	553			△553	
		無形固定資産	59,791	58,022	1.4%	△1,768	
その他	その他固定資産	584,963	592,842	13.9%	7,879		
	合計	2,305,199	2,209,393	51.9%	△95,805		
	合計	4,298,973	4,260,690	100.0%	△38,282		
	負債及び純資産	流動	買掛金・未払費用	357,716	427,501	10.0%	69,785
			短期借入金	40,000	40,000	0.9%	
長期借入金1年以内返済額			92,336	93,448	2.2%	1,112	
賞与引当金			264,086	264,086	6.2%		
その他流動負債			56,828	37,211	0.9%	△19,617	
固定		長期借入金	810,966	862,246	20.2%	51,280	
		健友会基金・協力債	987,434	895,098	21.0%	△92,336	
		退職給与引当金	431,694	413,284	9.7%	△18,410	
		その他固定負債	656,705	656,705	15.4%		
		合計	2,076,351	1,965,088	46.1%	△111,263	
純資産	合計	2,887,317	2,827,334	66.4%	△59,983		
	出資金	294,345	288,385	6.8%	△5,960		
	積立金	800,000	900,000	21.1%	100,000		
	剰余金	317,311	244,971	5.7%	△72,340		
	合計	1,411,656	1,433,356	33.6%	21,700		
合計	4,298,973	4,260,690	100.0%	△38,282			

## 2023年度事業活動のまとめ

5月より新型コロナウイルスについて感染症法の位置づけが5類へ変更され、経済活動が活発化する中、介護サービスの利用件数が増加しましたが、デイサービスちあき、特養ちあき第二にてクラスターが発生し、サービス提供縮小を余儀なくされるなど混乱も起きました。また、交流企画やボランティア活動が徐々に再開され、地域の方が事業所を訪れる機会が増えていきました。

また介護職員不足への対応として、夜勤も可能な特定技能外国人材を2名採用し、萩原グループホームに配属しました。厚労省「介護職員の働きやすい職場環境づくり」に愛知県からの推薦を受け、職員育成や多職種協働などが評価され、厚生労働大臣奨励賞を受賞しました。

総資産は16億8,827万円（前年比2472万円減）、うち流動資産：現預金残高は1億8,661万円（前年比3,137万円増）となりました。当期資金収支差額3,516万円、当期活動増減差額マイナス2,383万円でした。ケアハウスちあき外壁屋上修繕（大規模修繕工事）を行ない、380万円支出しました。運営資金借入金5,000万円を行ない、長期借入金残高は4億2,511万円、前年比1千万円増となりました。

**1) ケアハウスちあき**  
居室50室の年間入居率99.1%。平均年齢85.5歳、要支援1以上の認定者は約6割でした。介護保険サービス（デイサービス、訪問看護等）の紹介など、個別の支援を行ないました。9名退去・9名新入居があり、退去理由は死去5名、特養入所2名、グループホーム1名、他施設1名でした。

**2) デイサービスちあき**  
一日平均利用者は年度初めに37名前後でしたが、「巻き返し活動」により、

1～3月は平均42名へ増加しました。新型コロナ感染者が断続的に発生し10月に利用者計14名が感染しました。新たな運動器具（ステッパー、上肢運動器、エアロバイク等）を増やし、機能訓練に活用しています。

**3) 藤ヶ丘事業所**  
デイサービスの一日平均利用者は年度初めに7名弱でしたが、1～3月は平均8名超へ増加しました。利用者個別の希望を叶える「小さな願い事」や、「短時間デイ」「入浴デイ」等のきめ細かな対応を包括支援センターなどへ広報しました。

**4) 岩倉事業所**  
小規模多機能の月平均利用者数は前年同様22名（登録定員25名）。中庭で草花や野菜を育て、収穫して楽しみました。デイサービスの一日平均利用者は前年比増で9.5名（定員10名）。「行って楽しいデイサービス」をめざし、月替わりで喫茶店へ行くなど外出企画に取り組みました。

**5) 特養・特養第二（各ショートステイ含む）**  
平均稼働率は特養95.2%、特養第二96.5%でした。多職種カンファレンスでリスクマネジメントの強化を図り、入院予防や早期退院に取り組みました。利用者と家族と一緒に楽しめる季節行事を4回実施し、「食」をテーマにした講演、試食や、家族の不安ごとを話し合う企画も実施しました。

**6) 萩原事業所**  
小規模多機能の月平均利用者数は増加し26.4名（定員29名）。地域のなじみ処や史跡等へ外出を重ね「利用者様と一緒に作る地域マップ」が完成しました。グループホームの平均稼働率は前年比増で98.7%。家族会を開催し、畑の取り組み報告や「看取りケア」の講演を行ないました。

## 社会福祉法人 尾張健友福祉会 2023年度 決算報告

### 貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	現金預金	186,612,817	155,236,506	31,376,311
	事業未収金	141,590,136	133,472,372	8,117,764
	その他流動資産	2,603,373	2,280,786	322,587
	合計	330,806,326	290,989,664	39,816,662
	固定資産	基本財産	1,177,201,847	1,215,958,603
その他固定資産		180,266,892	206,048,300	△25,781,408
合計		1,357,468,739	1,422,006,903	△64,538,164
総計	1,688,275,065	1,712,996,567	△24,721,502	

勘定科目	当年度末	前年度末	増減	
負債	流動負債	99,778,175	90,517,118	9,261,057
	固定負債	466,835,046	457,346,376	9,488,670
負債合計	566,613,221	547,863,494	18,749,727	
純資産	基本金	138,391,100	138,391,100	0
	国庫補助金等特別積立金	443,959,510	463,594,279	△19,634,769
	その他の積立金	0	10,000,000	△10,000,000
	次期繰越活動増減差額	539,311,234	553,147,694	△13,836,460
	(うち当期活動増減差額)	△23,836,460	19,277,986	△43,114,446
合計	1,121,661,844	1,165,133,073	△43,471,229	
総計	1,688,275,065	1,712,996,567	△24,721,502	

### 事業活動決算書

2023年4月1日～2024年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	当年度決算	前年度決算	増減	
サービス収益	介護保険事業収益	794,323,763	797,952,545	△3,628,782
	老人福祉事業収益	77,847,627	78,898,034	△1,050,407
	経常経費寄附金収益	669,984	678,729	△8,745
	その他の収益	113,900	85,150	28,750
	サービス活動収益計	872,955,274	877,614,458	△4,659,184
サービス活動費用	人件費	543,215,042	554,682,643	△11,467,601
	事業費	104,120,093	108,643,679	△4,523,586
	事務費	204,237,447	142,339,853	61,897,594
	利用者負担軽減額	70,253	69,033	1,220
	減価償却費	63,685,103	66,322,736	△2,637,633
国庫補助金等特別積立金取崩額	△19,634,769	△20,321,895	687,126	
サービス活動費用計	895,693,169	851,736,049	43,957,120	
サービス活動増減差額	△22,737,895	25,878,409	△48,616,304	
サービス活動外収益	サービス活動外収益計	2,707,336	3,121,357	△414,021
	サービス活動外費用計	3,958,301	9,855,580	△5,897,279
サービス活動外増減差額	△1,250,965	△6,734,223	5,483,258	
経常増減差額	△23,988,860	19,144,186	△43,133,046	
特別増減の部	特別収益計	1,216,969	852,925	364,044
	特別費用計	1,064,569	719,125	345,444
特別増減差額	152,400	133,800	18,600	
当期活動増減差額	△23,836,460	19,277,986	△43,114,446	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	553,147,694	533,869,708	19,277,986
	当期末繰越活動増減差額	529,311,234	553,147,694	△23,836,460
次期繰越活動増減差額	539,311,234	553,147,694	△13,836,460	